

新発見 秀吉の書状

— 播磨と但馬をつなぐ垣屋氏文書 —

会期：2021年4月24日(土)～6月6日(日)



- リスト番号は展示順序を示すものではありません。
- 本展開催の契機となった村田家文書は竹本敬市氏(元姫路大学教育学部特別特任教授)に依頼し整理いただいた。秀吉の書状を含め貴重な史料は、3,000点を越す文書群にもかかわらず、竹本氏による細部にわたる丁寧な作業から生まれた発見であります。
- 秀吉関連の資料について、史料解説から時代背景に至るまで前田徹氏(兵庫県立歴史博物館学芸員)のご指導・ご教示をいただきました。
- 但馬地方に伝わる垣屋氏関係については、石原由美子氏(豊岡市地域コミュニティ振興部文化振興課文化財室)よりご教示いただきました。

特別陳列 お楽しみガイド

「歴史の軌跡！奇跡！」を楽しむ！

この度発見された書状は、秀吉が但馬国守護山名氏の家臣である垣屋氏に宛てたものです。秀吉の但馬侵攻に抵抗していた垣屋氏ですが、秀吉配下となりその一族が脇坂家に仕えました。江戸時代の村田家と婚姻関係があったと思われ、史料が村田家に伝わり今回の新発見となったのです。

歴史は思わぬところから新しい発見がありますが、“豊臣秀吉と村田家”という一見関係のない両者を、何百年もの先人たちの営みが結びつけました。そんな歴史の軌跡を味わってください。

「ひょうごの歴史旅」を楽しむ！

本展で紹介する史料は、たつの市の位置する播磨国だけでなく、但馬国、摂津国、淡路国など兵庫県域に広がっています。秀吉やその周辺の武将たちの史料をたどれば、地域と時代がつながっていきます。そんな歴史旅を楽しんでください。

「天下人のたより」を楽しむ！

このたび発見された秀吉文書は、保存状態が良好で発給時点における本来の料紙の折り方がわかります。また、文禄3年のものは大高檀紙(おおかだんし)が用いられています。当時は豊臣秀吉と秀次だけが使用していたといわれる大きな料紙。他の古文書の料紙と比べていただくと天下人の威厳が想像できます。

令和3年4月

たつの市立龍野歴史文化資料館

展示資料リスト

No.	名称	年代	差出人・作者	宛先	形態・員数	法量(タテ×ヨコ)	文書名・所蔵	指定
Ⅰ 播磨赤松氏と但馬山名氏の攻防								
1	赤松盛衰記 乾坤	江戸時代	股野家		2冊	24.0×17.5	龍野文庫・館蔵	
2	赤松系図	延享4(1747)年	股野充美		1冊	27.5×19.0	龍野文庫・館蔵	
3	播州古城記		股野延幹		1冊	19.2×13.5	龍野文庫・館蔵	
4	天保但馬国絵図 パネル	天保9(1838)年					国立国会図書館デジタルアーカイブ	
5	元禄播磨国絵図 写 (揖東郡・揖西郡 部分)				1舗	175.2×187.5	龍野文庫・館蔵	
Ⅱ 羽柴秀吉の播磨と但馬攻め								
6	絵本太閤記	寛政9(1797)～享和2(1802)年	源重直 他		7編84冊	22.4×15.2	龍野文庫・館蔵	
7	佐用軍記	万治3(1660)年	川嶋正友		2冊	24.3×17.0	龍野文庫・館蔵	
8	常山紀談	明和7(1770)年	湯浅元禎		25冊	24.8×18.0	龍野文庫・館蔵	
9	羽柴秀吉判物	天正10(1582)年3月21日	筑前守秀吉	脇坂甚内	折紙	32.4×51.0	龍野文庫・館蔵	市
10	羽柴秀吉書状	(天正11(1583)年)閏正月29日	筑前守秀吉	脇坂甚内 森兵吉(重政カ) 藤虎介(清正)	折紙・軸装	30.3×46.8	脇坂家資料・個人蔵	市
11	貂の皮				2筋	172.5/172.0	龍野神社奉賛会蔵	
12	貂の皮由来記				1冊	34.7×17.3	龍野文庫・館蔵	
13	印章 安治				角製	高2.2 印面1.9×1.4	脇坂家資料・個人蔵	市
14	脇坂安治肖像画				1幅	30.4×47.2	脇坂家資料・個人蔵	市
Ⅲ 秀吉の所領配置								
15	賤ヶ嶽戦場の図				1舗	50.8×69.3	龍野文庫・館蔵	市
16	賤ヶ峯合戦の図	嘉永		一勇齋國芳画	刷物 3枚組	36.0×75.0	館蔵	
17	羽柴秀吉判物(柳ヶ瀬感状) 写	天正11(1583)年6月5日	秀吉	脇坂甚内	折紙	15.8×47.5	龍野文庫・館蔵	
18	十文字槍				1条	27.5×20.2	龍野神社奉賛会蔵	市
19	伊予札縹糸下散紅糸威胴丸具足				1領	胴高34.8 背高38.0	龍野神社奉賛会蔵	市
20	垣屋孫一宛領知宛行状	天正11年8月朔日	秀吉	垣屋孫市	折紙	31.5×50.0	村田家文書・館蔵	
21	羽柴秀吉朱印状	(天正12(1584)年)6月6日	筑前守秀吉	山岡美作守 脇坂甚内	折紙	28.9×45.0	龍野神社旧蔵資料・館蔵	市
22	羽柴秀吉朱印状	(天正12年)9月17日	筑前守秀吉	脇坂甚内	折紙	31.5×50.2	龍野神社旧蔵資料・館蔵	市
23	羽柴秀吉朱印状	(天正13(1585)年)壬8月13日	秀吉	脇坂甚内	折紙	31.7×50.3	龍野神社旧蔵資料・館蔵	市
24	羽柴秀吉判物	天正13年9月朔日	秀吉	脇坂甚内	折紙	32.3×50.4	龍野文庫・館蔵	市
25	羽柴秀吉朱印状	(天正13年)12月朔日	秀吉	脇坂甚内	折紙	31.8×50.1	龍野神社旧蔵資料・館蔵	市

No.	名称	年代	差出人・作者	宛先	形態・員数	法量(タテ×ヨコ)	文書名・所蔵	指定
Ⅳ 秀吉と検地								
26	淡路国指出寄帳	天正13年9月10日	秀吉	脇坂甚内	帳面	27.8×42.0	龍野神社旧蔵資料・館蔵	県
27	羽柴秀吉判物	天正14(1586)年11月3日	秀吉	脇坂中務少輔	折紙	31.4×49.8	脇坂家資料・個人蔵	市
28	淡路国脇坂中務知行目録	天正14年11月3日	秀吉	脇坂中務少輔	帳面	29.7×23.2	脇坂家資料・個人蔵	市
29	淡路国御蔵入代官所預け地目録	天正14年11月3日	秀吉	脇坂中務少輔	帳面	29.7×23.2	脇坂家資料・個人蔵	市
30	豊臣氏奉行人連署奉書案	(天正19(1591)年)か5月3日	長東大蔵大輔正家・増田右衛門尉長盛・石田治部少輔三成・民部卿法印玄以	脇坂中務少輔加藤左馬助	折紙	30.0×46.5	龍野神社旧蔵資料・館蔵	市
31	豊臣秀吉朱印状	文禄3(1594)年10月17日	秀吉	垣屋孫市	折紙	46.4×65.6	村田家文書・館蔵	
32	浅野弾正長吉書状	(文禄3年)10月20日	長吉	垣屋孫市	折紙	34.5×50.0	村田家文書・館蔵	
33	御知行分目録	文禄3年10月20日	浅野弾正	垣屋孫市	一紙	34.5×50.0	村田家文書・館蔵	
34	長福寺村検地帳	文禄4(1595)年8月15日	石川久五		帳面	27.4×21.2	山下家文書・個人蔵	市
35	諸土具足図				1冊	27.0×19.5	龍野神社旧蔵資料・館蔵	
Ⅴ 人気者の太閤さん								
No.	名称	年代	産地	作者	材質・形態	法量(タテ×ヨコ)	所蔵	
36	太閤	昭和17(1942)年4月	京都府伏見		土	24.6×17.8×12.3	館蔵	
37	太閤		京都府伏見		土	27.2×20.2×14.2	館蔵	
38	太閤		京都府伏見		土	27.2×19.6×14.7	館蔵	
39	太閤		京都府伏見	富士忠製	土	22.3×15.6×10.5	館蔵	
40	太閤(中啓持ち)		京都府伏見	丹嘉製	土	28.6×21.0×14.1	館蔵	
41	太閤(軍配持ち)		京都府伏見	丹嘉製	土	28.9×19.5×15.0	館蔵	
42	太閤				土	21.5×21.3×9.7	館蔵	
43	太閤と旗持	明治時代初期				太閤65.0×47.8×26.6 旗持ち34.7×22.2×17.7	館蔵	
44	竹田人形 武士	江戸時代後期				高さ32.9	館蔵	
45	豊太閤	大正時代	稲畑 兵庫県氷上		土	32.9×20.5×16.0	奥村コレクション・館蔵	
46	木下藤吉郎	古玩	稲畑 兵庫県氷上		土	27.5×17.9×8.1	奥村コレクション・館蔵	
47	太閤・従者		滋賀県小幡		土	太閤12.9 従者12.5	西川コレクション・館蔵	
48	幟 太閤と従者	大正～昭和初期			布	894.0×102.5	館蔵	

※ ロビーにて垣屋孫市のふるさと 竹野町轟地区の資料をご紹介します。



—秀吉の書状 新発見の意義—

- ★秀吉政権の知行宛行のあり方を示す史料であるとともに、兵庫の地域史研究においては、但馬山名氏の重臣として著名な垣屋氏に関する一次史料として重要。
- ★新発見文書と既知の史料とを組み合わせることで分析された成果は、垣屋氏の庶流家が秀吉政権下でたどった道筋をうかがわせるものとして興味深いものです。中世の領主層が、どのように近世社会へ移行していったのかを示す一事例として重要。
- ★これまで未周知だった近世の史料群の中から発見されている。今後、さらに各地の近世文書の調査が進む中で、同様の新発見が得られることを期待したい。

前田 徹氏(兵庫県立歴史博物館学芸員) 教示による抜粋

【主な参考文献】

『脇坂淡路守』(2007年 たつの市立龍野歴史文化資料館)

『秀吉からのたより』(2017年 たつの市立龍野歴史文化資料館)

『ひょうごと秀吉』(2017年 兵庫県立歴史博物館)

【ご協力いただいた方々 *敬称略】 記して深甚の謝意を表します。

佐賀県立名護屋城博物館 下塚地区 龍野神社奉賛会 轟地区 豊岡市立歴史博物館 兵庫県立歴史博物館
荒川千鶴 石原由美子 太田 修 袖岡恭子 竹本敬市 仲井正之
西尾孝昌 前田 徹 村田孝子 山下寛也 脇坂安知